



報道各位

令和2年3月18日(水)

エコを起点とした地域消防・防災力強靱化の取組が 強靱化大賞 2020 で特別顧問賞を受賞！



消防団車庫等に設置のオフグリッド型発電装置
(左：屋根に設置したソーラーパネル、右：利用システム)

自家消費型太陽光発電・太陽熱利用設備
(屋上右側手前から太陽光、熱設備)

【主な内容】

有田川町消防本部では、地域消防力ならびに消防体制の強化に取り組んでおります。そのひとつの要素として、近年では当町の特色のひとつである「エコなまちづくり」を起点とした再生可能エネルギーを活用した消防・防災体制の整備にも注力しております。

消防本部庁舎建設時には自家消費型太陽光発電(10kW)および太陽熱利用設備(200L)を導入し、地下には雨水利用設備を埋設するなど、災害時の水・エネルギーの確保はもちろん、平時は庁舎電熱源や訓練用水源として活用できる設備を整備しており、平成29年度には新たに消防車車庫上にも太陽光発電設備(29kW)を設置いたしました。

令和元年度からは管内の消防団器具置場へオフグリッド型発電設備設置を開始しました。この設備は太陽光により発電したエネルギーを利用し、停電時の消防団機能継続と地域の通信用非常電源の確保を目的としたもので、有事における消防団員の迅速な出動・準備に繋げる事ができます。こちらは平成30年の台風21号による甚大な被害で管内の山間地域を主とした広範囲で停電が発生した教訓から3ヵ年計画ですべての消防団器具置場81箇所を設置を予定しています。

そしてこの度、これらの取組を評価いただき、『ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2020』において「特別顧問賞 二階俊博(国土強靱化提唱者)賞」を受賞することとなりました。

当消防本部としましては、地域の特色であるエコを起点として、災害に強い自立型再生可能エネルギーを導入した消防本部の体制や家庭・事業用では普及が進んでいるものの、独立型電源としての利用はそう進んでいない太陽光発電について消防団をはじめとする地域をあげての利用の先行例として、評価いただいたものと考えております。エコを起点とした地域消防・防災力向上を目指す取組として、ぜひご取材ください。

有田川町消防本部消防総務課 担当 奥林 *設備の写真提供も可能です。
電話：0737-52-5950 (代表) E-mail：fire119@town.aridagawa.lg.jp